

高温予報！「間断かん水」「飽水管理」で根の活力を維持！ 斑点米カメムシ類の発生量多い！草刈りの徹底で密度低減！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

◎今後の気象

7月10日発表の2週間予報（気象庁）では、
平年より気温が高く、特に最低気温がかなり
高くなる日が続く見込みです。また、今後1
週間は雨や曇りの日が多くなる見込みです。

2週間気温予報（気象庁HPより）

日付	10	11	12	13	14	15	16	17
	金	土	日	月	火	水	木	金
山形 （最高気温）	当日	32	32	29	32	36	33	31
山形 （最低気温）	当日	23	23	22	23	23	23	23

かなり高い

高い

◎生育概況

7月10日現在の生育は、平年と比べて草丈は短く、茎数は多く、葉数は平年並みとなっています。葉色は「はえぬき」「つや姫」でやや淡く、「雪若丸」で平年並となっています。

県の試験研究機関の調査において、出穂期は「はえぬき」「雪若丸」「つや姫」のいずれも、平年並みからやや早まる予想です。

表1 「はえぬき」「つや姫」「雪若丸」の生育（7月10日）

品種	項目	調査値	平年値	平年比・差
はえぬき	草丈(cm)	56.0	62.1	90 短い
	茎数(本/㎡)	655	620	106 多い
	葉数(枚)	10.8	10.7	0.1 平年並み
	葉色(SPAD)	40.8	42.4	-1.6 やや淡い
つや姫	草丈(cm)	58.1	63.9	91 短い
	茎数(本/㎡)	620	556	111 多い
	葉数(枚)	10.6	10.5	0.1 平年並み
	葉色(SPAD)	37.8	39.3	-1.5 やや淡い
雪若丸	草丈(cm)	52.3	57.4	91 短い
	茎数(本/㎡)	722	680	106 多い
	葉数(枚)	11.1	11.0	0.1 平年並み
	葉色(SPAD)	42.6	43.0	-0.4 平年並み

※ 各農業技術普及課の調査結果を平均した値

表2 予想出穂期^{※1}

品種	場所	出穂期（平年差）	
		予想	平年 ^{※2}
はえぬき	山形市	7/31 (-1日)	8/1
	鶴岡市	7/30 (±0日)	7/30
つや姫	山形市	8/4 (-4日)	8/8
	鶴岡市	8/7 (±0日)	8/7
雪若丸	山形市	7/31 (-1日)	8/1
	鶴岡市	7/30 (-1日)	7/31

※1 農業総合研究センター調べ

山形市：7/9、鶴岡市：7/10現在

※2 平年は過去7か年(R1-R7)の平均値

◎当面の技術対策

今後は気温の高い日が続きます。稲体の消耗を防ぎ、根の活力を維持するためには、きめ細かな水管理が重要になります。飽水管理または間断かん水を徹底しましょう。なお、今後も用水の効率的な利用に努めましょう。

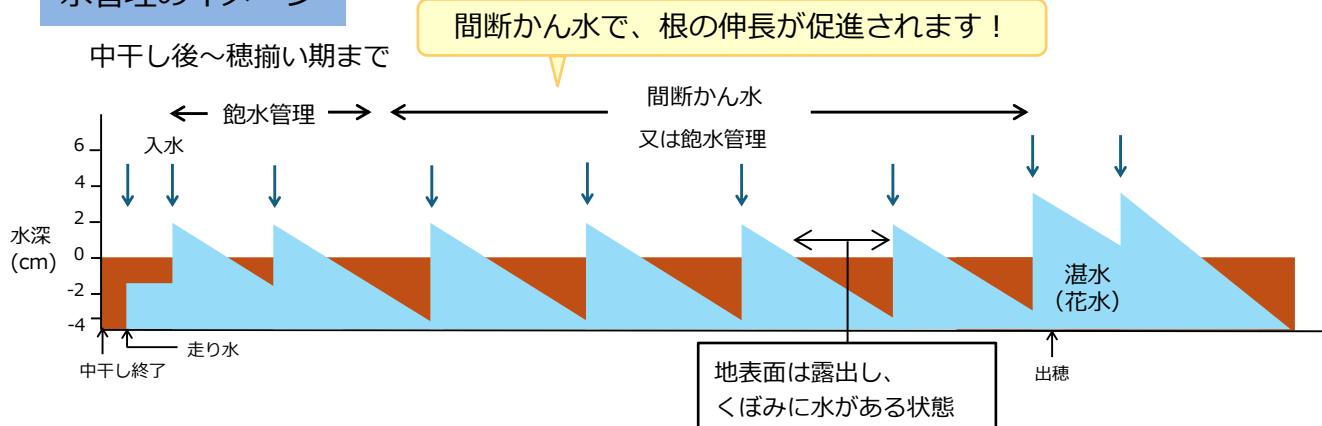
（１）夜間の高温で稲体消耗の恐れ！「水のためっぱなし」は厳禁！！

中干し終了後は、飽水管理をした後に、徐々に間断かん水に移ります。土壌を酸化的に維持し、根をしっかりと張らせながら活力を維持することが重要です。水のためっぱなしは、土壌の還元が進んで根へのダメージが大きくなるため、厳禁です。



飽水管理の様子

水管理のイメージ



（２）ケイ酸施用はいいことづくめ！積極的に施用しましょう

ケイ酸は、イネが最も多く吸収する養分です。光合成促進や根の伸長促進、窒素吸収量の増加等の効果があるため、高温の影響を軽減することが期待できます。水口施用の資材等を積極的に活用して、暑さに負けないイネの体づくりを進めましょう。

（３）斑点米カメムシ類の発生量が多い！ 畦畔、法面、農道の除草を徹底！

斑点米カメムシ類の発生量は平年に比べて多く、7月2日付けで注意報が発表されています。畦畔、法面、農道、休耕田等で雑草が繁茂しているところでは、出穂2週間前頃までに地域全体で草刈り等の除草対策を徹底し、今後の斑点米カメムシ類の増殖を抑制しましょう。また、主要な斑点米カメムシ類である「アカスジカスミカメ」はノビエやホタルイ等に産卵して増殖するので、本田の残草対策も万全に行います。

（４）葉いもちの発生を確認！ 早期発見・早期防除を徹底

病害虫防除所の調査において、葉いもちの発生が確認されています。また、いもち病の感染に好適な気象条件となっています。圃場をよく見回り、早期発見、早期防除を徹底しましょう。

地域全体に用水が行き渡るように関係者でよく話し合い、限りある用水を効率的に利用しましょう

農作業事故と熱中症に十分注意しましょう！
～夏の熱中症等声かけ期間～

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

